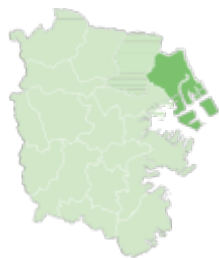


# 第Ⅲ章 区役所の環境施策



## 鶴見区



DATA2016（平成28）年4月1日			
【設置年月日】	昭和2年10月1日	【区の人口】	285,854人
【区の世帯数】	133,532	【面積】	32.38km <sup>2</sup>
【区の花】	サルビア	【区の木】	サルスベリ

### 地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策を地域や家庭で推進していただくため、出張エコ教室を年3回開催しました。また、地域の各種イベントでの家庭での省エネに関するアンケートの実施、区内児童への省エネチャレンジシートの配布、電力消費量等測定機器の貸出をお知らせ、地球温暖化対策に係るPRを行いました。



省エネアンケートの実施

### 京浜の森づくり事業

京浜地区（鶴見区、神奈川区の臨海部）において、事業者・市民との協働により、企業の緑地や公共の緑・水辺での緑の創造・拡充に取り組みました。

また、末広町の横浜サイエンスフロンティア地区では、フラワーロード事業として区が整備した道路の植栽帯について、草刈等の日常管理を地元企業に担っていただきました。



末広地区での草刈り

### スリム 3R夢 出前教室

ごみの減量・リサイクルの意識を高め、地球温暖化問題について学ぶ出前講座を、保育園や小学校で実施しました。



3R夢出前教室

### スリム 3R夢 土壌混合法講習会

生ごみの減量化・資源化を目的とした取組から、区民ボランティアの協力を得て、土中の微生物の力で生ごみを分解する土壌混合法による土づくり講習会を毎月1回実施しました。

また、地域のイベントや保育園などでの出前講習会も行いました。



土壌混合法講習会

### 鶴見クリーンキャンペーン 2015

区内の自治会・町内会、企業、各種団体等に年2回春と秋に清掃活動と呼びかけ、ごみ袋・軍手の配布や、ごみの収集などの活動支援を実施しました。



鶴見クリーンキャンペーン



# 神奈川区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 2 年 10 月 1 日	【区 の 人 口】	239,559 人
【区 の 世 帯 数】	120,277	【面 積】	23.59 km <sup>2</sup>
【区 の 花】	チューリップ	【区 の 木】	コブシ

## かながわエコスクラム事業

神奈川区では、区民・事業者・区役所の三者の協働（＝スクラム）で、地球温暖化対策の取組を進めています。

### ・エコ活啓発事業

子ども向けエコ講座「お天気・環境実験教室」や大人向けエコ講座「エコ素材でつくる入浴剤作り」を実施し、地球温暖化や地球環境への関心を高める啓発活動を行いました。

### ・緑化推進事業

緑のカーテン普及啓発として、5月に緑のカーテンの育て方と土壌混合法を学べる講座を実施しました。また、区役所を含む区内の公共施設 39 か所でゴーヤやアサガオの「緑のカーテン」を設置し、育成しました。9月には、地域への普及啓発として「緑のカーテン写真コンテスト」を開催しました。



お天気・環境実験教室



緑のカーテン(区役所)

## 地産地消推進事業

地産地消の推進のため、地産地消こども料理教室と大人向け料理教室を開催しました。

また、2016（平成 28）年 2 月に地産地消ガイドブック「地産地消を楽しむ おいしい神奈川区」を発行し、配布しています。



緑のカーテン育成講座

## 環境にやさしいイベントの実施

神奈川区民まつり（10 月）では、神奈川区民まつり実行委員会の協力によりリユース食器を使用し、ごみ量を大幅に削減しました。また、神奈川区民まつり実行委員会では、被災地支援となるクレジットの購入により、1 t のカーボンオフセットを実施し、CO<sub>2</sub>を削減しました。



ことりっぶ写真

## 横浜 FC との協働事業

神奈川区はニッパツ三ツ沢球技場をホームスタジアムとする横浜 FC とエコパートナー協定を結んでいます。

「横浜 FC かながわ区民 DAY」（5 月）では、区内産野菜を使った「神奈川区コラボメニュー」の販売などを行いました。また、「横浜 FC エコパートナー DAY」（8 月）では、間伐材を利用したキーホルダー作りのブースを出展しました。

両日とも、入場者数に応じたカーボンオフセット（試合に勝った場合、オフセットを区民 DAY 2 倍、エコパートナー DAY 4 倍）を実施しています。



横浜FCかながわ区民 DAY

	当日入場者数	CO <sub>2</sub> オフセット量
横浜 FC かながわ区民 DAY(5月)	9,663 人	19,326 kg相当
横浜 FC エコパートナー DAY(8月)	5,321 人	5,321 kg相当



# 西 区 西

DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 19 年 4 月 1 日	【区 の 人 口】	98,565 人
【区 の 世 帯 数】	51,960	【面 積】	6.98 km <sup>2</sup>
【区 の 花】	スイセン	【区 の 木】	モクセイ

## にしく打ち水大作戦 2015

区内小中学校、西地区センター・西公会堂、藤棚地区センターの公共施設等での実施のほか、横浜駅西口・東口において、事業者の皆さんや保育園児とともに打ち水を行いました（7月～8月）。

また、地域や企業が自主的に打ち水に取り組めるよう、ひしゃく等の物品を貸し出すなどの支援を行いました。



横浜駅前での打ち水

## 脱温暖化行動の普及啓発

照明を消すことで、日頃いかに電気を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えていただくことを目的に、「にしくライトダウンキャンペーン 2015」を開催しました。七夕には横浜駅周辺を中心に 10 分間の一斉ライトダウンを行いました。

また、企業や商店とタイアップしたリデュースキャンペーンで、食品ロス削減や生ごみの水切り、エコバッグの活用を呼びかけるなど、区民に対する幅広い啓発活動に取り組みました。

さらに、12 月の地球温暖化防止月間に合わせて野毛山動物園・中央図書館と連携し、温暖化の影響を受けている動物に関する展示を 3 施設（区役所・動物園・図書館）で行い、脱温暖化行動の必要性を訴えました。



リデュースキャンペーン

## 環境学習の実施

子どもの頃から環境に対する関心を高めてもらうため、保育園や小中学校と協力して、「こどもエコ劇場」、「西区もったいない探偵団」、「小・中学校出前講座」、環境パフォーマーによる「中学校環境講座」など、それぞれの世代にあった教材を活用した環境学習を行いました。



中学校環境講座

## 緑化の推進・普及啓発

区民利用施設や小学校で緑のカーテンを育成したほか、まちかど花壇や公園で、区民との協働による花植えに取り組みました。



区民利用施設での緑のカーテン育成



# 中 区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 2 年 10 月 1 日	【区 の 人 口】	148,558 人
【区 の 世 帯 数】	79,162	【 面 積 】	20.87 km <sup>2</sup>
【 区 の 花 】	チューリップ		

## 中区エコドライブ体験教室

地球温暖化対策を推進する中区の企業との協働により、環境にやさしい電気自動車や低公害車のほか、安全技術を搭載した自動車の試乗などを体験する教室を 2016 (平成 28) 年 2 月 3 日に開催しました。



エコドライブ体験教室

## 「花緑のカーテン」の推進

建物への日差しを遮るとともに、葉から出る水蒸気で涼しい風を室内に呼び込み、冷房の使用を抑制する効果がある緑のカーテンに、花を咲かせる植物を用いた「花緑のカーテン」を、公共施設等 4 か所に設置しました。



花緑のカーテン

## ごみの分別の促進

地域や学校で開催される各種イベント会場でごみの分別を促進するため、分別ごみ箱の無料貸出しの実施 (12 イベント) や、中区民祭り「ハローよこはま 2015」にてエコステーションの運営を行いました。

また、なか国際交流ラウンジにて「外国人向けごみ分別講座」を開催しました (4 回)。



イベントでのごみ分別促進

## 中区クリーンアップ DAY2015

2007 (平成 19) 年度から行っている清掃活動を、スタート地点の桜木町駅からゴール地点の山下公園までの 16 コースで、2015 (平成 27) 年 5 月 9 日に実施しました。市民・事業者・ボランティア団体・行政を合わせて 464 名が参加しました。



中区クリーンアップ DAY

## 中区 3R 夢 推進大会

2016 (平成 28) 年 3 月 29 日に開港記念会館講堂において、中区の 3R 夢 行動の推進やまちの美化運動に功績のあった方々に中区長から感謝状を贈呈しました (個人の表彰: 10 名、団体の表彰: 15 団体)。

また、第二部では資源循環局 3R 推進課より「もったいない! 食べられるのに捨てられる食品ロスを減らしましょう」について講演がありました。



中区 3R 夢 推進大会

## 中華街クリーンアップ

2012 (平成 24) 年度から横浜中華街の美化活動として地域住民・事業者・行政が協働して実施してきた「中華街クリーンアップ」を計 8 回実施しました。清掃活動に加え、ポイ捨てや歩行喫煙禁止啓発、放置自転車や違法看板の撤去指導に取り組むなど、様々な環境改善に取り組んでいます。



中華街クリーンアップ



# 南区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 18 年 12 月 1 日	【区 の 人 口】	194,599 人
【区 の 世 帯 数】	95,853	【 面 積 】	12.63 km <sup>2</sup>
【 区 の 花 】	サクラ		

## 温暖化対策普及啓発事業

子どもたちが地球温暖化問題について興味を持つ機会を提供するため、区内小学生を対象とした普及啓発イベントを実施しました (14 人参加)。

また、民間企業が CSR として提供している出前講座を区内市立小学校にご紹介し、講座開催を支援しました (1 校、約 270 人参加)。



温暖化普及啓発

## 緑のカーテン栽培物品の支援

ご家庭などでも比較的簡単に育てることができ、地球温暖化対策に寄与する緑のカーテンの普及を目的に、区内在住・在勤のグループに対して、ゴーヤの苗や土・肥料等の栽培物品を提供しました (19 グループ、200 人)。

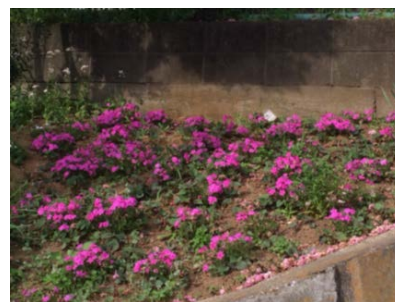


緑のカーテン

## 芝桜等緑化

区内小学校において、緑化環境が整う、子どもたちが転んでもケガをしにくくなる、砂ぼこりが防げるなど、様々な効果がある芝生緑化を実施しました (2 校)。

また、区の花「さくら」の普及花である芝桜をはじめとした花苗による緑化を実施しました (小・中学校 13 校、保育園 4 園、公園愛護会 62 団体)。



芝桜による緑化

スリム

## 3R 夢 プランの推進

### (環境出前教室・各種啓発活動の実施)

多くの区民の皆様へ、ごみの発生抑制や分別・リサイクル行動を実践していただくため、区内商店街・スーパー等と連携したキャンペーンを 28 回実施しました。また、小学校・保育園・幼稚園等での環境学習、地域に出向いた出前講座を 37 回実施しました。



出前教室



# 港南区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 44 年 10 月 1 日	【区 の 人 口】	215,062 人
【区 の 世 帯 数】	91,314	【 面 積 】	19.86 km <sup>2</sup>
【 区 の 花 】	ヒマワリ、アジサイ、キキョウ	【 区 の 鳥 】	シジュウカラ
		【 区 の 木 】	クロガネモチ

## 地球温暖化対策の推進

### ○廃食油回収によるカーボン・オフセットに挑戦！

「こうなん子どもゆめワールド」で、横浜市地球温暖化対策推進協会と連携し、廃食油回収によるカーボン・オフセットに挑戦しました。当日の回収量は 350ℓ に上り、回収した廃食油を燃料として再利用することで得られる二酸化炭素の削減効果は 948 kg となりました。



廃食油回収

### ○区内事業者と連携した環境絵日記展の開催

2月に京急百貨店において、横浜市資源リサイクル事業協同組合が主催している「環境絵日記」の区内受賞作品を展示する『環境絵日記展』を開催しました。



環境絵日記展

## 緑化の取組

公園愛護会花き園芸部が育苗したゴーヤの苗を使用し、保育園や小学校（計 32 施設）で緑のカーテンを育成しました。また、区民向けの緑のカーテン講習会を 2 回開催し、各家庭での取組を推進しました。



緑のカーテン講習

## エコ・クッキング教室を開催

区内農家さんと東京ガスエコモ(株)のご協力により、「港南区産の旬野菜でエコ・クッキング教室」を開催しました。区内農業の紹介とともに、港南区産野菜を使用して「環境に優しいエコな料理」を体験しました。



エコ・クッキング教室

## 直売会・農体験の開催

夏野菜の時期に区内農家さんが交代制で出品する港南区産野菜の直売会「ビタミン満菜市」や、1年を通じて農作業や収穫物を活用した交流会を実施する農体験「ビタミン満菜農園」を開催しました。



港南区産野菜の直売会「ビタミン満菜市」

スリム

## 3R夢プラン推進とごみの分別普及啓発活動

ごみと資源物の分別の大切さを理解していただくため、自治会町内会でスリム3R夢プランの説明会（年 17 回）、小学校などで出前教室（年 39 回）、地域イベントでの啓発活動（年 18 回）などを行いました。

## 河川のクリーンアップ

地域主体で川の清掃を行い、子どもたちも含め地域住民が地元の川を綺麗にする意識をもって、自然の大切さを学ぶ良い機会になっています（4河川で6回実施、1,800名以上が参加）。



河川のクリーンアップ



# 保土ヶ谷区

DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 2 年 10 月 1 日	【区の人口】	205,456 人
【区の世帯数】	92,990	【面積】	21.81 km <sup>2</sup>
【区の花】	すみれ	【区の木】	シイノキ、ハナモモ
【区の鳥】	カルガモ		

## 「ヨコハマ <sup>スリム</sup> 3R 夢」プランの推進

ごみの分別、リサイクル及びごみそのものを減らすリデュース（発生抑制）について、地域や資源循環局と連携を図り、積極的に取り組みました。

区内の商業施設の店頭でレジ袋・紙袋・包装紙等の容器包装の減量・リサイクルの推進を目的とした啓発や、次世代に向けた分別・リサイクル推進の取組として、保育園・小学校で <sup>スリム</sup> 3R 夢 出前教室を実施しました。



3R 夢啓発活動

## 花と緑のあふれるまちづくりの推進

ほ도가や花憲章に基づき、「花の街ほ도가や」を推進・PR するイベント「ほ도가や花フェスタ 2015」を 5 月に開催しました。

また保土ヶ谷区在住の小・中学生を対象に、地域環境美化の推進をテーマとした「清潔で、きれいな街ほ도가や」ポスター展を実施しました。さらに季節の花を歩きながらめぐる「ほ도가や秋の花探検隊」や、「季節の花の寄せ植え教室」など、様々なイベントを開催しました



ほ도가や花フェスタ 2015

## ほ도가やエコ活。推進事業の展開

地域資源である帷子川を活用したイベント「ほ도가や川フェスタ」を開催し、身近な自然に触れることによって、環境保全や温暖化対策について楽しみながら学ぶことのできるプログラムを実施しました。

また、西谷・川島地域の農家を巡って地産地消を学ぶ講座や、企業の協力を得てエコな調理方法を学ぶ講座も実施しました。



ほ도가や川フェスタ

## ほ도가や☆元気村

保土ヶ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用した区民の交流の場「ほ도가や☆元気村」において、区民の企画・運営による子どもたち向けの 1 年間の農体験講座を実施しました（2009（平成 21）年 4 月開村）。



農体験講座



# 旭 区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 44 年 10 月 1 日	【区 の 人口】	246,885 人
【区 の 世帯数】	103,187	【面 積】	32.78 km <sup>2</sup>
【区 の 花】	アサガオ	【区 の 木】	ドウダンツツジ
【区 の 昆虫】	ホタル		

## ホタルの舞う里づくり・帷子川環境学習

旭区の昆虫であるホタルの舞う里づくりを目指して、小学校や地域でホタルの飼育や放流を行うとともに、環境整備に取り組んでいます。

また、子ども達が区の中心を流れる帷子川に対して愛着を深め、ふるさとの環境に対して関心を持つきっかけとなるように、「NPO法人こども自然公園どろんこクラブ」や「公益社団法人保土ヶ谷法人会旭支部連合会」と協働して、帷子川環境学習を小学校7校で開催しました。



帷子川環境学習

## 地球温暖化対策・ヒートアイランド緩和に向けた啓発活動

ゴーヤなどつる性の植物を育てて、夏の暑さや日差しを遮る緑のカーテンづくりに、区役所主催の「緑のカーテン栽培講座」を受講された約 281 名の区民の皆様、資材等を提供した小中学校・保育園等 43 か所、区役所が取り組みました。

また、小学校や地域に出向いて、身近に取り組める省エネをテーマにした出前講座（全 5 回、参加者約 475 人）を実施しました。出前講座を受講した小学生らには、学んだ内容をもとに絵や作文などの作品作りにも取り組んでもらい、身近な環境行動「エコ活。」を呼びかけました。



省エネをテーマにした出前講座

## 資源の有効活用方法の紹介

毎月第 3 木曜日に区役所 1 階情報発信コーナーで土壌混合法の実演を行いました。土壌混合法とは、生ごみと土を混ぜ合わせ、土の中の微生物の力を借りて生ごみを分解し、土を栄養分豊かなものに変える方法で、生ごみのリサイクルにつながります。これとは別に、区民まつりや地区センター等でも実演を行いました（全 16 回実施）。



土壌混合法実演





# 磯子区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 2 年 10 月 1 日	【区 の 人 口】	166,238 人
【区 の 世 帯 数】	74,887	【面 積】	19.02 km <sup>2</sup>
【区 の 花】	コスモス	【区 の 木】	ウメ

## 「ヨコハマ 3R 夢！プラン」推進の取組

### ・区民ボランティアとの協働による啓発活動

#### 【3R マーケットやリユース家具市の開催】

リユース（再使用）を実践するイベントとして、区民ボランティア「磯子区 3R 応援隊」と協働し、使えるけれど必要のなくなった品物を必要な人に提供する「3R マーケット」を開催しました（6 月 6 日、11 月 3 日の 2 回）。

また、3R マーケット開催日の午前中には、同会場内で「リユース家具市」を開催し、更にリユースを意識していただく機会となりました。

#### 【子育て世代や次世代に向けた 3R の啓発】

今まで啓発を行う機会が少なかった世代に対し、地域子育て支援拠点や乳幼児健診時に啓発を行いました（年 68 回）。

また、次世代へ向けての啓発として、小学校、保育園・幼稚園等に出向いて「環境教室」を開催し、紙芝居や寸劇、紙すき、分別ゲームを行い、ごみの分別や 3R の大切さを伝えました（年 41 回）。

### ・夏休み親子リサイクル工作教室の開催

3R について学び、実践していただくために、小学生親子に向けて「夏休み親子リサイクル工作教室」を初開催しました。当日は 3R についての講義を行なった後、使い終わったペットボトルを再利用したおもちゃ「ペットボトルシューター」の工作を行いました（8 月 25 日）。



リユース家具市



環境教室



乳幼児健診来場者向け  
3R 夢啓発



夏休み親子リサイクル工作教室



打ち水

## 「いそご ECO アクション」推進の取組 (地域主体の脱温暖化・環境行動)

### ・いそご打ち水応援プロジェクト

打ち水の普及のため、区内の団体に打ち水セット（桶、ひしゃく、温度計）の貸出しを行いました。また、職員による「打ち水応援隊」を組織し、希望する団体の打ち水を支援しました（7～8 月、8 回）。

### ・グリーンカーテン育成支援

小中学校、保育園、幼稚園等、公共施設 56 施設での緑のカーテンの育成を支援しました。また、区内 4 か所（区役所、根岸地区センター、洋光台 CC ラボ、杉田劇場）でゴーヤの苗 900 鉢を無料配付しました。

### ・グリーンカーテンパネル展、表彰式の開催

家庭・事業所・教育機関を対象にグリーンカーテンの写真を募集し、区役所でパネル展を開催しました。また、パネル展に応募のあった作品の中から、出来栄が優秀な方々を表彰しました（応募計 44 件）。

### ・いそごこどもエコフェスタ 2015 の開催

こども達が楽しみながらエコを学べる「いそごこどもエコフェスタ 2015」を開催しました。区内の環境団体や NPO、環境活動を行う企業等が一堂に集まり、エコ工作体験やペットボトルツリー、気象予報士による地球温暖化教室などを通して環境への意識を共有しました（12 月、参加者 2,000 人）。



緑のカーテン



苗木の配布



いそごこどもエコフェスタ 2015



# 金 沢 区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日

【設置年月日】	昭和 23 年 5 月 15 日	【区 の 人 口】	201,350 人
【区 の 世 帯 数】	86,875	【面 積】	30.68 km <sup>2</sup>
【区 の 花】	ボタン	【区 の 木】	ヤマザクラ

## 「環境にやさしい、美しいまち金沢」 推進事業本部会議の開催

第 3 回金沢区環境にやさしい活動表彰受賞団体による活動事例の発表や、ヨコハマ 3R 夢プラン等に関して情報共有を行いました (6 月 14 日実施)。



推進事業本部会議

## 平潟湾クリーンアップキャンペーンの実施

地域との協働で平潟湾のかけがえのない自然を保存するため、平潟湾の海上や湾岸の清掃活動を行いました (11 月 21 日実施、150 人参加)。



平潟湾クリーンアップキャンペーン

## 「食品ロス」・「マイバッグ」等の普及・啓発

区内の大型店舗で「食品ロス」食べ残し食材の削減や「マイバッグ」によりレジ袋の使用削減を推進するイベントを行い、リデュースに対する意識を高めました (6 月 13 日、10 月 8 日、10 月 29 日実施)。



大型店舗での普及啓発

## 区民まつりでの啓発

金沢まつりいきいきフェスタで「クラフトキットづくり」を実施しました。自然環境の大切さについて楽しみながら学びました (10 月 15 日実施、250 人参加)。



市民協働による緑の創造

## 実感して見隊エコ探検ツアー in 金沢 の開催

地域、家庭、学校で環境やエコを考え、実践できる人材の育成を目的として、親子で金沢区内にある環境関連施設(金沢動物園、海洋開発研究機構地球情報館)の見学会を実施しました (8 月 7 日実施、10 人参加)



エコ探検ツアー in 金沢

## 横浜つながりの森ウォーキングの開催

六国峠ハイキングコース (金沢文庫駅～金沢自然公園、約 5 km) の散策、ののほな館で拾った木の実を使ったクラフト作りを行うウォーキングイベントを開催し、横浜つながりの森を身近に感じるとともに自然に触れ合いました (12 月 4 日実施、11 人参加)。



横浜つながりの森ウォーキング



# 港北区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日

【設置年月日】	昭和 14 年 4 月 1 日	【区 の 人 口】	345,279 人
【区 の 世 帯 数】	164,316	【面 積】	31.37 km <sup>2</sup>
【区 の 花】	ウメ	【区 の 木】	ハナミズキ

## 港北水と緑の学校

鶴見川を活用した環境学習講座を 2004 (平成 16) 年度から実施しています。講座は小学生を中心に、鶴見川での魚とりや生きもの観察、水質調査、自然観察などを行っています。

小学校での環境学習講座 (全 17 回) を実施し、延べ 1,755 人が参加しました。また、学習成果を区内大型商業施設等での展示会 (2 回) で公開しました。



港北水と緑の学校 環境学習講座

## 直売所の実施の支援

区内の地域ケアプラザでの地元野菜の直売所の実施を支援しました (全 6 回)。



直売所 (高田地域ケアプラザ)

## 屋上庭園運営事業

港北区役所及び太尾小学校の屋上庭園部分の維持管理を区民と連携して実施しています。



屋上庭園 (港北区役所) での活動

## 港北オープンガーデン

個人のお庭や、街の花壇を巡る中で、花と緑を通して区の魅力を再発見し、地域への愛着を深め、交流を促進することを目的として 2013 (平成 25) 年の春から実施しています。



港北オープンガーデン

## 3R 行動の推進【ヨコハマ <sup>スリム</sup> 3R 夢 プラン】

ごみと資源物の分別やごみの発生抑制を推進するため、早朝のごみ集積場所や町内会館など地域へ出向き、ごみや資源物の分け方・出し方、生ごみの水切り、食品ロスの削減についての説明会を 35 回実施しました。また、港北区消費生活推進員の研修会において、「ヨコハマ <sup>スリム</sup> 3R 夢 ! 講座」を実施しました。



地域での分別説明会



緑

区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 44 年 10 月 1 日	【区 の 人 口】	180,499 人
【区 の 世 帯 数】	74,985	【面 積】	25.42 km <sup>2</sup>
【区 の 花】	シラン	【区 の 木】	カエデ

## 地球環境にやさしい暮らし

区民・事業者・行政が連携して 3R や地球温暖化防止に向けた様々な取組を実施しました。

### ・エコ講座

省エネなどの脱地球温暖化行動を学んでもらうために、市民団体と連携して親子を対象とした節電・省エネに関する実験や市内産食材を使った料理教室等のエコ講座（6回）を実施しました。

### ・エコチャレンジカード(ハンコ付き)の配布

自治会に協力いただき、地域の夏祭り等で脱温暖化行動を啓発するエコチャレンジカード（ハンコ付き）を配布しました。



エコチャレンジカード



地場野菜の直売会



3R 夢出前講座



店舗での3Rと脱温暖化行動の普及啓発



自然教室



生き物観察会

## 地産地消の推進

区庁舎内で週 1 回、地場野菜の直売所を開催したほか、JA 横浜と共催で、地元農家による地場野菜の直売会（1回）を実施しました。

また、地産地消を P R するため、広報よこはま緑区版で「野菜クイズ」や「地場野菜を使用したレシピ」の連載をしたほか、地産地消を促進する動画を制作し、緑区 WEB 等で配信しました。

## スリム ヨコハマ 3R 夢 プラン 出前講座の実施

保育園・幼稚園、小中学校等と連携し、キャラクターを利用した人形劇など、年齢に合わせた環境教室（16回）を実施しました。

## 店舗における啓発の実施

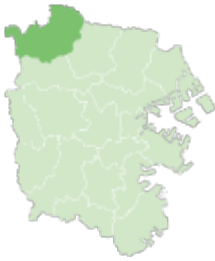
スーパーマーケット等と連携して、不要なレジ袋等の容器包装削減など、3R 行動や脱地球温暖化行動を啓発するキャンペーン（5回）を実施しました。

## 自然教室

身の回りにいる昆虫やその習性に興味を持ち、親んでもらうため、自然教室（2回）を開催しました。

## 生き物観察会

雨水調整池ビオトープの生物多様性について知ってもらうため、近隣小学校と連携して森の台 1 号雨水調整池の生き物観察会（2回）を実施しました。



# 青葉区



DATA 2016 (平成28) 年4月1日			
【設置年月日】	平成6年11月6日	【区の人口】	309,732人
【区の世帯数】	125,780	【面積】	35.06 km <sup>2</sup>
【区の花】	ナシ	【区の木】	ヤマザクラ

## 青葉環境エコ事業

環境活動に取り組む区民団体等との共催で、環境に関する講座「クールアース講座」を7回開催しました。大人向けのもの、子どもに分かりやすく伝えるもの、親子で参加できる講座など、対象はさまざまです。地球温暖化について親子で学ぶ講座や廃油キャンドル作り、エコ・デイキャンプ、フードマイレージの削減につながる地産地消講座、食材を無駄しないことで環境負荷の低減につながるエコ・クッキングなど、多彩な講座を開きました。

このほか、家庭での電気使用量やCO<sub>2</sub>排出量を測定する「省エネナビ」機器を区民に貸し出すことで、脱温暖化行動を促進しました。また、各家庭や事業所等での再生可能エネルギー活用に関するリーフレットを作成し、普及に向けた啓発を行いました。



天ぷら油でキャンドル作り

## スリム 3R夢 推進事業

ごみの分別や減量のため、地域での説明会や小学校等におけるスリム3R夢出前教室を開催するとともに、区役所1階の区民ホールでは、分別相談窓口を常設（原則、毎週水曜日）しました。商業施設等では、食品ロスの削減を呼びかけるキャンペーンを、年間通して実施しました。

くらしの中でごみの減量に楽しく取り組めるひと工夫として、EM菌を活用した「生ごみたい肥化講習会」【年4回開催（37人参加）】や野菜の皮などを利用しておいしい料理を作る「スリム3R夢クッキング」【年5回開催（59人参加）】を開催しました。

ご家庭で読み終えた本を有効にリユースするための「あおば区民文庫」では、区民の皆さまから年間12,385冊もの本（区役所受入実績、前年比7,030冊の増）をご提供いただきました。その本を必要とする方にご利用いただくことで、紙資源の再利用を通じた地球環境への負荷軽減につながっています。

その他、“きれいな街青葉”を目指すため、「放置自動車・不法投棄対策会議」を定期的に開催し、関係機関との連絡を密に図り、早期発見・早期撤去に取り組みました。また、ポイ捨て禁止の周知を図るため、毎月駅頭にて早朝啓発活動を実施するなど、生活環境の向上に向けた活動も行いました。



桐蔭学園での啓発講演会



あおば区民文庫

## 花と緑があふれる街事業

花と緑があふれる街づくりを進めるため、緑化ボランティア「あおば花と緑のサポーター」への花苗提供等の支援やボランティア育成のための研修会の実施、活動場所の充実等に取り組みました。区庁舎周辺の花壇及び活動場所では、日ごろの手入れや年数回の花の植え替えにより、色とりどりの華やかな花壇の整備・維持が行われました。



区庁舎花壇の植え替え



# 都 筑 区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	平成6年 11 月 6 日	【区 の 人 口】	212,230 人
【区 の 世 帯 数】	81,092	【 面 積 】	27.88 km <sup>2</sup>
【 区 の 花 】	サクラソウ		
【 区 の 木 】	(里山の木) ヤマモミジ、ヤマザクラ、コナラ、シデ (人里の木) サルスベリ、モクセイ、ウメ		

## 次世代自動車（FCV）の普及啓発

燃料電池自動車（FCV）の普及啓発のため、区内イベントで3回実車展示を行いました。2016（平成 28）年 2 月には、燃料電池自動車（FCV）を公用車として導入しました。2016（平成 28）年 2 月 23 日には、IKEA 港北にて移動式水素ステーションの設置セレモニーを行いました。



水素ステーション設置セレモニーの様子

## 親子で楽しむ環境講座の開催

東京都市大学 I S O 学生委員会と連携し、地球温暖化をテーマとした映画の上映や、映画に関する環境講座を開催しました。併せて、吉崎研究室による間伐材についての講座やワークショップ形式によるクラフトキット作成講座を開催しました。



東京都市大学との協働による環境講座。

## 区庁舎を活用した環境啓発

都筑区総合庁舎内の壁面等（3～6 階男女トイレ）を活用し、区民向けに、ラッピングシールによる、脱温暖化や環境に関する啓発を行いました。



区庁舎壁面を活用した環境啓発

## 電力使用量測定器貸出

家庭での節電対策や省エネ対策に役立ててもらうため、家電の電気料金、使用電力量、CO<sub>2</sub>排出量などを簡単に計測することができる電力使用量測定器の貸出を行いました。

## いただきます！都筑野菜

地産地消を進めるために毎月第 2、第 4 土曜日に都筑区総合庁舎で都筑野菜朝市を定期開催しました。また、6 月、11 月、1 月には区内大型商業施設と連携し、朝市と併せてフードワークショップを開催しました。



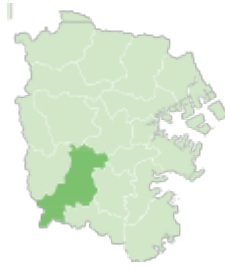
都筑野菜朝市

## 不要図書の再利用「リユースつづき」

多くの子どもたちに環境をまもる意識を持ってもらえるよう、図書ボランティア“つづきっこ読書応援団”と協働して、家庭で不要になったこども向け図書を募り、3R 夢のメッセージシールを付けて区内 19 施設に、合計 1,610 冊を配付しました。



「リユースつづき」



# 戸塚区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 14 年 4 月 1 日	【区 の 人 口】	275,298 人
【区 の 世 帯 数】	114,005	【 面 積 】	35.70 km <sup>2</sup>
【 区 の 花 】	桜		

## 地球温暖化対策の推進

戸塚区では、区民の皆さまと行政がともに力を合わせて温暖化対策を推進しています。

## とつかエコライフ事業

### ・環境啓発パネル展の開催

関係団体や関係局の取組をパネルやチラシ等で紹介し、温暖化対策の啓発を実施しました。

期間：6月8日～6月19日 / 会場：戸塚区総合庁舎3階区民広間

### ・とつかエコフェスタの開催

「来て見て作ってエコを体験しよう」をテーマに様々な体験メニューを通して、身近な自然を感じてもらい、地球温暖化対策について理解を深めてもらう子ども向け環境啓発イベントを実施しました（延べ参加人数：1,756人）。

実施日：11月14日 / 会場：戸塚区総合庁舎3階区民広間、多目的スペース

### ・地域イベントにおけるエコ啓発

「上矢部まちづくりの会」が主催するAQUAフェスタに、区エコ啓発ブースを出展し、温暖化対策をテーマにしたエコクイズを実施する等の啓発を行いました（参加者数：約300人）。

実施日：9月27日 / 会場：阿久和川周辺

### ・とつかエココーディネーター養成講座の実施

地域においてエコの普及・啓発の役割を担っていただく方を養成する講座を実施し、修了者を「とつかエココーディネーター」として認定しました（修了者数：27人）。

期間：9月～12月 全5回 / 会場：戸塚区役所

内容：

	日程	テーマ
第1回	9月19日(土)	地域エコ活動の可能性
第2回	10月10日(土)	暴れる気候と地域防災
第3回	10月31日(土)	食と環境との深～い関係
第4回	11月28日(土)	エコなガーデニングを広めよう
第5回	12月19日(土)	さあ、いよいよアクション開始！



環境啓発パネル展  
北海道下川町との取組紹介



環境啓発イベント「とつかエコフェスタ」



とつかエココーディネーター養成講座

ス リ ム

## 3R夢 推進事業

### ・分別説明会の開催

ごみの減量・リサイクル意識を高めるため明治学院大学の新生を対象にごみの分別説明会を開催しました。

### ・戸塚ふれあい区民まつり

ごみの減量化を目指し、模擬店ブースにおいてリユース食器を導入しました（回収率：99.2% 市内1位）。

### ・花の小道

未来を担う子どもたちが、緑を大切にすることを育む取組として、小学生と協同で戸塚小学校西側歩道上のプランターに花苗を植えました（573株を植樹）。



# 栄 区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 61 年 11 月 3 日	【区 の 人 口】	121,638 人
【区 の 世 帯 数】	50,798	【 面 積 】	18.55 km <sup>2</sup>
【 区 の 花 】	キク		

## 森や自然のプロモーションや体験イベント

栄区の豊かな森や自然の魅力を広く発信するためのプロモーションや、その魅力を身近に体験できるイベントを実施しました。

### 【プロモーション】

- 1 リーフレット「森へ行こう！～2015 夏のイベント情報」作成
- 2 フォトコンテスト秋・冬（9月～2月/応募作品 174 点）
- 3 上郷・森の家での写真教室（10月 21 人 / 11月 28 人）

### 【イベント】

- 4 熱気球搭乗イベント「空から森をみてみよう。」（11月 195 人）
- 5 富良野自然塾×天体観測（2月 114 人）



## 「さかえグリーンサポーター制度」による環境教育の推進

「さかえグリーンサポーター」とは、区内の緑地や公園と企業や学校をつなぎ、団体同士と一緒に緑のサポート活動を行うための栄区独自の制度です。団体同士が新たなつながりを作ることにより、環境教育やCSR活動として新たな取組を提案・実施してきました。2015（平成 27）年度は、竹林の間伐や田植え活動など合計 5 回の活動が行われました。



竹林の間伐活動



地産地消の推進

## 地産地消の推進

栄区の豊かな自然を生かし、区民が健康的で健全な生活を送るため、連合町内会、JA、各種団体等で構成する実行委員会を通して、食と農のある豊かなライフスタイルを提案しました。

- 1 本郷台アオソラマルシェの開催（7月 約 5,000 人）
- 2 鎌倉女子大学と区内飲食店が共同で地元野菜を使ったメニューを開発（地元野菜で体もまちも元気にするプロジェクト）
- 3 野菜料理レシピの区民公募と啓発（さかえの野菜めしあがれ！）



ダンボールコンポスト

## ダンボールで生ごみリサイクル事業

燃やすごみの約 4 割を占める「生ごみ」の減量化のため、誰でも手軽に生ごみの堆肥化に取り組める「ダンボールコンポスト」の購入費補助制度を横浜市内で初めて施行しました（補助件数：36 件）。

## 生ごみを活用した元気野菜プロジェクト

生ごみの堆肥化を区民に広めるため、生ごみを利用した「土づくり体験会」（実施回数：3 回、参加者数：合計約 40 人）や、保育園、中学校での土づくり出張教室（実施：19 件、参加者数：合計 481 人）を実施しました。



元気野菜プロジェクト





泉

区



DATA 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日			
【設置年月日】	昭和 61 年 11 月 3 日	【区 の 人 口】	153,920 人
【区 の 世 帯 数】	60,980	【 面 積 】	23.56 km <sup>2</sup>
【 区 の 花 】	あやめ		
【 区 の 木 】	サクラ、ハナミズキ、キンモクセイ、アジサイ、モミジ、コムラサキ		

## 地球温暖化対策に関する普及啓発

地球温暖化対策（CO<sub>2</sub>削減）のために、省エネ、樹林地の保全（みどりアップ）、ごみ削減（3R夢）の3分野をテーマにした啓発を実施しました。

啓発にあたっては、燃料電池自動車（FCV）を活用し、区民に環境対策の大切さについて気づいてもらうきっかけとしました。



啓発イベント(神明台のつどい)

## 緑のカーテン

地球温暖化やヒートアイランド現象抑止の取組の一つとして、ゴーヤやアサガオなどツル性植物による「緑のカーテン」づくりを推進しました。種の配布を行ったほか、緑のカーテンコンテストを開催し、写真展や入賞者の表彰を行いました。



緑のカーテンコンテスト表彰式(個人部門)

## ウェルカム教室

小学校や保育園の児童、園児等を収集事務所に招いて、環境学習や生ごみを肥料にして育てた野菜の収集体験など、環境について楽しく学ぶ「ウェルカム教室」を開催しました。



ウェルカム教室

## 援農ボランティアの活動支援

援農ボランティア団体「泉区農業応援隊」の活動支援（会議運営・広報等）をすることで、高齢化や担い手不足に悩む農家の支援につなげました。



泉区農業応援隊

## 菜の花の播種

和泉川の和泉川遊水地（延長 340m）と鍋屋橋下流（延長 300m）の遊歩道において、水辺愛護会の方との協働により菜の花の播種を行いました。

菜の花は3月末から4月にかけて桜とともに開花し、川沿いは水と緑を感じながら散策できる観光スポットになっています。



菜の花の播種



# 瀬谷区

DATA 2016 (平成28)年4月1日			
【設置年月日】	昭和44年10月1日	【区の人口】	124,320人
【区の世帯数】	50,591	【面積】	17.11 km <sup>2</sup>
【区の花】	アジサイ	【区の木】	ケヤキ
【区の鳥】	オナガ		

## 身近でできる温暖化防止行動の普及

### ・緑のカーテンの普及啓発

区民ボランティアが育成したゴーヤ苗を使用し、保育園や小学校、自治会館などで緑のカーテンを実施しました。

### ・「水切りキャンペーン」生ごみの水切りの啓発

生ごみの水分を減らすための工夫（濡らさない、乾かす、しぼる）をすることで、臭気予防に役立つとともに、ごみの減量や温室効果ガス削減、焼却時の発電にも効果があります。

そこで、店頭・駅頭などでのイベントにおいて、水切りネットを配布し、家庭での生ごみの水切りの取組を推進しました。



小学校における緑のカーテン



瀬谷区版クールシェアチラシ

## 瀬谷区版クールシェアの実施

夏場に涼しく過ごせる場所を皆で共有しようという考え方（クールシェア）を広め、区内公共施設の利用促進や区内に残る森・水辺などの自然環境のPRに結びました。

## 商店街と連携した環境行動の促進

多くの区民が集まる商店街の夏祭りとあわせて、打ち水イベントや水の彫像の展示を実施し、商店街の活性化をはかるとともに、身近な環境活動を推進しました。

## 環境と人・地域社会

### ・いきもの観察会

豊かな自然環境の残る和泉川で、小学生親子を対象としたいきもの観察会を行いました。ホトケドジョウやトンボのヤゴなど、様々な水生生物が確認され、生物多様性について学ぶ良い機会となりました。

### ・区民ボランティアによる花苗育成

未利用公益地を利用した「育苗センター」にて、区民ボランティアが花苗を育成し、区内の小学校や公立保育園へ配布しました。また、ボランティアによる出張植え付け指導を行い、児童・園児と共に花壇に花苗を植えました。



いきもの観察会の様子



出張植え付け指導

環境管理計画に関係する以下の資料はホームページで見ることができます。  
URL : <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/kanri/>

## 環境活動の推進

- ・ 環境教育出前講座
- ・ 環境保全活動団体への助成
- ・ 動物園・繁殖センター等における環境教育
- ・ 森づくりボランティア団体の登録及び支援

## 地球温暖化対策

- ・ 温室効果ガス排出量の部門別内訳
- ・ ハマウィングの年間発電量

## 生物多様性

- ・ 外来生物の防除

## 水とみどり

### 緑の保全

- ・ 緑被率
- ・ 近郊緑地特別保全地区等
- ・ 特別緑地保全地区の指定状況
- ・ 市民の森一覧
- ・ ふれあいの樹林一覧
- ・ 開発事業等に伴う緑化等
- ・ よこはま協働の森基金の樹林地取得状況
- ・ 課税対象山林面積の推移

### 緑化の推進

- ・ 建築物の緑化協議
- ・ 緑化地域制度による緑化率適合証明審査実績
- ・ 緑地協定締結状況
- ・ 民有地緑化等助成事業
- ・ 人生記念樹配布事業
- ・ よこはま緑の街づくり基金の積み立て状況

### 公園の整備と管理

- ・ 都市公園の種類
- ・ 都市公園数・面積一覧
- ・ 政令指定都市の公園整備状況
- ・ スポーツ施設のある公園
- ・ プールのある公園
- ・ 教養施設等（西洋館・古民家・自然体験施設等）のある公園

### 下水道事業

- ・ 公共下水道計画図
- ・ 下水道管きよ更新対象区域図
- ・ 下水道のデータ
- ・ 下水道処理施設一覧
- ・ 建設事業費の推移
- ・ 雨水滞水池一覧
- ・ 雨水調整池一覧
- ・ 雨水多目的調整池一覧
- ・ 前処理施設の処理能力と企業数
- ・ 水再生センターの水質試験結果

## 食と農

### 区別データ（農地、農家戸数等）

#### 農地関係

- ・ 市内農地面積の推移
- ・ 農業専用地区の指定状況
- ・ 生産緑地地区の指定状況
- ・ 農地等権利移動状況
- ・ 農地等改良事業実績
- ・ 恵みの里指定状況
- ・ 横浜ふるさと村指定状況
- ・ 市民利用型農園区別運営状況
- ・ 防災協力農地登録面積

#### 担い手関係

- ・ 農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の推移
- ・ よこはま・ゆめ・ファーマー認定者数
- ・ 環境保全型農業推進者の認定者数
- ・ 新規就農者の状況

#### 農業振興関係

- ・ 横浜ブランド農産物認定生産者団体等
- ・ 農業金融の融資実績
- ・ 苗木育成栽培配布事業実績及び計画
- ・ 花苗生産配布
- ・ 畜産指導事業（飼育状況）
- ・ 園芸畜産指導事業
- ・ 家畜飼養

#### その他

- ・ 横浜市内の農業委員会

## 資源循環

- ・ 廃棄物の処理状況

## 生活環境

### 大気環境

- ・ 大気汚染常時監視局の配置図
- ・ 簡易測定法による二酸化窒素濃度の市内濃度分布図
- ・ 環境基準適合状況
- ・ 大気汚染物質年間測定結果
- ・ 有害大気汚染物質濃度の年平均値
- ・ 光化学スモッグ注意報発令回数及び届出被害者数の推移
- ・ 光化学スモッグ注意報発令状況

### 騒音、振動

- ・ 道路交通騒音
- ・ 鉄道騒音・振動

### 水環境

- ・ 公共用水域
- ・ 地下水質測定計画等調査結果

## 化学物質

- ・ ダイオキシン類濃度の測定結果
- ・ 化管法に基づく化学物質の排出量

## 公害の相談・苦情

- ・ 区別公害苦情発生件数
- ・ 発生源別、種別の経年変化

## 環境法令に基づく届出件数

- ・ 横浜市生活環境の保全等に関する条例
- ・ 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
- ・ 大気汚染防止法
- ・ 騒音規制法
- ・ 振動規制法
- ・ 水質汚濁防止法
- ・ 下水道法・横浜市下水道条例
- ・ 土壌汚染対策法

## 環境保全協定の締結状況

## 環境影響アセスメント

- ・ 環境影響評価実績状況一覧表
- ・ 横浜市の環境影響評価制度

## 地籍調査事業

- ・ 地籍調査実施地区一覧

(参考)

横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例

環境基準

皆様からの意見をお待ちしています。

e-mail : [ks-kstoiawase@city.yokohama.jp](mailto:ks-kstoiawase@city.yokohama.jp)

2016（平成 28）年版 横浜市環境管理計画年次報告書

発行	横浜市環境創造局政策課
	〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
TEL	045-671-2891
FAX	045-641-3490

